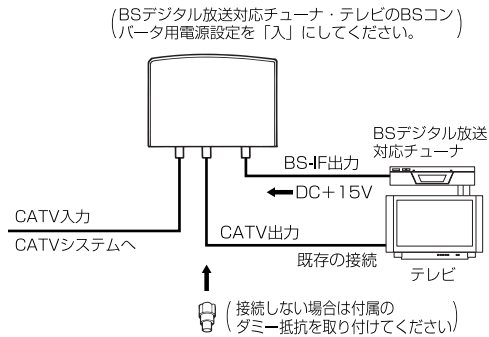


使用例



電源の供給

- この製品を動作させるための電源はBSデジタル放送対応チューナからのコンバータ用電源 (DC+15V) により供給されます。
- この製品には電源スイッチがありません。電源を供給するBSデジタル放送対応チューナ・テレビのBSコンバータ電源設定を「入」にすることにより、この製品に電源が供給され、電源の供給と同時に、この製品のパイロットランプが点灯します。
- 電源の供給は取付工事が終わって、すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認してから行ってください。電源供給時に電源をショート (ケーブルの心線と外側の導体を接触するなど) させると、この製品を動作させる直流電源を供給しているデジタルチューナ・テレビなどの保護回路が動作して電源供給が止まり、受信できなくなることがあります。

規格特性

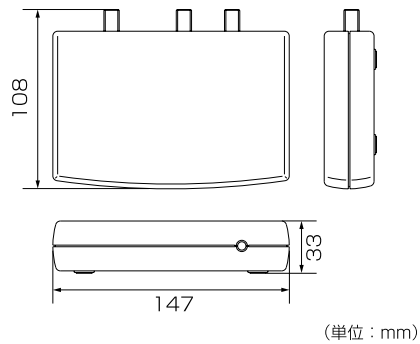
品名	BSデジタルパススルーアップコンバータ
品番	USC-104-2
＜BSデジタル＞	
入力チャンネル	K,L,M,N
変換チャンネル	1,3,13,15 (BS-IF)
利得 (dB)	5±5
定格出力レベル (dBμV)	81
V S W R	2.0以下
＜CATV＞	
入力周波数 (MHz)	10~770
通過損失 (dB)	0~2
V S W R	2.0以下
CATV入力インピーダンス (Ω)	75
CATV出力インピーダンス (Ω)	75
BS-IF出力インピーダンス (Ω)	75
使用温度範囲 (°C)	0~+40
電源	DC+15V (10%、-12%)
外形寸法 (mm)	33(H)×147(W)×108(D)
質量 (kg)	0.38

規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- BS-IF帯 (1GHz帯) とUHF帯、VHF帯ではケーブルの損失が異なりますからシステム設計には特にご注意ください。
- この製品は、BSデジタル放送がパススルー伝送されているCATVでしか使用できません。また、CATV伝送チャンネルが異なる場合がありますので、ご加入のCATV局で確認してください。
- この製品では、パススルー伝送されているBSデジタル放送以外のBS放送はご覧になれません。

外形寸法図



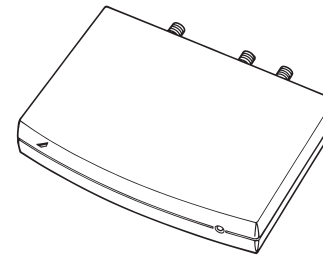
取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DIGITAL

BSデジタルパススルーアップコンバータ USC-104-2 (KLMN対応)



製品の特長

- BSデジタル放送対応チューナ・テレビのBSコンバータ用電源で動作する低消費電力設計です。
- CATV伝送路からのBSデジタル信号を高品質でBS-IF帯に変換します。
- CATVパス回路内蔵により、システムの簡素化が可能です。

安全上のご注意

- ⚠️ △記号は注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は警告または注意) が描かれています。
- 🚫 ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
- ❗ ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は注意して行なってください) が描かれています。

⚠️ **警告** この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この製品は屋内専用です。屋外で使用したり、風呂場や洗い場など、水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。故障や火災・感電の原因となります。

- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品のBS-IF出力端子のケーブルを抜いて、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

詳しいお問合せは、もよりのDXアンテナ製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)	・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-8885(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・松本出張所 TEL.(0263)27-7801(代)	・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)			・南九州営業所 TEL.(098)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)			・沖縄営業所 TEL.(098)874-8202(代)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)

カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く) ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

(2005年3月現在)

●この製品を調理台や加湿器のそばなど高温になる場所、油煙や湯気があたるような場所に設置しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。



●強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動したりする場所や傾いた場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、通電形機器を挿入する場合は通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電形機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。



●この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、同軸ケーブルの接続や接栓加工などで、心線と編組を接触させたり、同軸ケーブルを傷つけたりしないようにしてください。火災や感電の原因となります。



●同軸ケーブルが傷んだとき(心線の露出、断線など)は、お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●この製品の内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。



●この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



●万一、煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにこの製品のBS-IF出力端子のケーブルを抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



●取り付けネジや、ボルトや接栓は、締め付け力(トルク)に指示がある場合はその力(トルク)で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



●雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



注意 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●この製品の周囲の通風を妨げないでください。また直射日光の当たる所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



●この製品の上に乗らないでください。こわれたりしてけがの原因となることがあります。



●ぬれた手でBS-IF出力端子ケーブルの接続はしないでください。感電の原因となることがあります。



●お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



お取扱いの前に

- 結線や取付作業はこの取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 電源の供給は、すべての同軸ケーブルが正しく接続されていることを確認した後に行ってください。
- この製品とBSデジタル放送対応チューナ・テレビを結ぶ同軸ケーブルには電流が流れます。途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、途中の通電形機器は、通電端子をよく確かめてお使いください。
- 使用時、異常が生じた場合は、ただちに電源の供給を止め、原因を確かめてください。
- この製品は屋内取付専用です。屋外に設置する場合は必ず防水防雨処理を施した収容箱などに収容してください。

〈伝送チャンネルの確認のお願い〉

CATV局によってBSデジタル放送の伝送チャンネルが異なる場合がありますので、ご加入のCATV局に伝送チャンネルをご確認ください。

CATV入力端子への接続

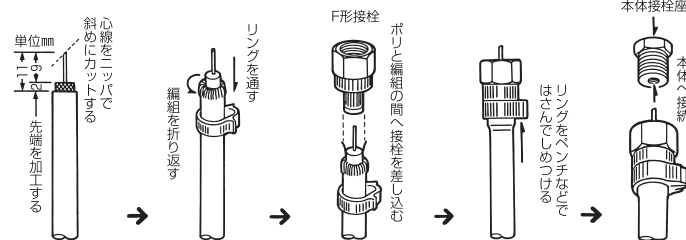
- この端子には、BSデジタルパススルー伝送を行っているCATV局からの信号を接続してください。

CATV出力端子への接続

- この端子からは、CATV局から伝送されてきた信号がそのまま出力されますので、通常の方法でテレビなどに接続してください。
- この端子を使用しない場合は、必ず付属のダミー抵抗をしっかりと取り付けてください。

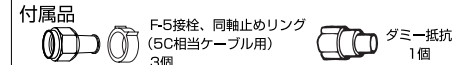
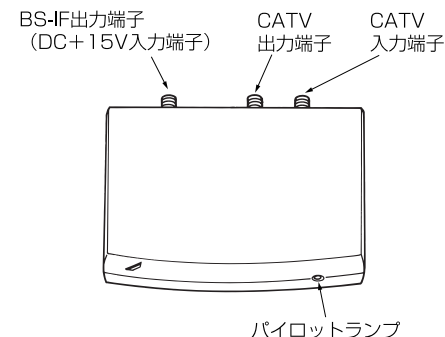
同軸ケーブルの接続方法

〈F-5接栓への同軸ケーブルの接続方法〉 (5C-2Vケーブル用)



- 5C-FVS、S-5C-FBなどの低損失ケーブルを使用する場合は、コンタクトピン付接栓(F-5SNなど)を使用してください。
- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけますと、断線の原因になりますからご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜いたりしないように、同軸ケーブルのリングをしっかりと締めてください。
- 入出力端子へのF形接栓の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください(2N・m以上では締め付けられないでください)。

各部の名称



BS-IF出力端子への接続

- この端子からは、CATV伝送路で伝送されたBSデジタル信号が、BS-IF帯(BSデジタル放送対応チューナ・テレビが受信できる帯域)に変換されて出力されています。
- この端子に、BSデジタル放送対応チューナ・テレビを接続して、BSコンバータ電源設定を「入」にしてください。この製品はBSデジタルチューナ・テレビの電源で動作します。